

## 第 5 章 分野別施策の推進

## 分野別施策事業一覧

節	事業番号	事業名
1	1	障害児保育事業
	2	乳児保育の実施
	3	民間保育サービスの活用の推進
	4	地域の力を生かした子育て支援
	5	子育て支援サービスに関する情報提供
	6	家庭児童相談事業
	7	保育所保育料の減免
	8	私立幼稚園在園児の保護者に対する経済的支援
	9	児童手当の支給
	10	子ども医療費の助成
2	11	母子健康手帳等の交付
	12	ママ・パパ教室の開催
	13	妊産婦訪問事業
	14	乳幼児訪問指導の実施
	15	乳幼児健康診査の実施
	16	乳幼児健康相談の実施
	17	乳幼児発達支援の充実
	18	歯科健康診査等の実施
	19	離乳食指導
	20	保育所給食の推進
	21	学校給食の推進
	22	健康生活推進員の活動
	23	地域医療体制の整備
	24	休日・夜間医療体制の整備
	25	二次救急医療体制の整備
3	26	男女の働き方の意識の是正
	27	仕事と子育ての両立のための啓発・広報の推進
	28	子育て世帯にやさしい公共施設等の整備
	29	防犯講習の実施
4	30	要保護児童対策地域協議会の運営
	31	虐待の発生予防
	32	ひとり親家庭等の自立、就業支援
	33	児童扶養手当の支給
	34	優先入居制度の活用
	35	自閉症及び乳幼児の発達障害への対応
	36	特別児童扶養手当の支給（県事業）
	37	身体障害児補装具支給事業の実施
	38	重度障害児日常生活用具給付事業の実施
	39	障害児介護給付費及び障害児通所支援事業費等の支給
	40	特別支援教育の推進
	41	障害児の生活支援ネットワーク化の推進

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号1	担当課：障害福祉課、子育て支援課
基本目標		地域における子育て支援の充実 ①保育サービスの充実
事業名		障害児保育事業
事業概要・目的		保護者の労働等により家庭での保育ができない障害児で、集団保育が可能な児童を受け入れます。

H30年度の取り組み内容

各保育所において障害児の受け入れに努めました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	保育士の確保が困難なため、十分な受け入れ体制を整備することは難しいと考えますが、保育士配置等の見直しにより受け入れ枠の確保に努めました。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

社会的必要性も高いことから、引き続き受け入れ体制の整備に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号2	担当課：子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の充実 ①保育サービスの充実	
事業名	乳児保育の実施	
事業概要・目的	すべての保育所で乳児の受け入れ体制を整備します。	

H30年度の取り組み内容

すべての保育所で、生後57日目から受け入れる体制を整備しました。  
 ○公私立保育施設の在籍乳児数：合計46人（H30.4.1時点）

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	保育士の確保が困難なため、年度途中の入所は希望に応えられない場合もありますが、保育士配置等の見直しや受け入れ枠の確保に努めました。
C:事業の見直しが必要	

R1年度以降の取り組みについて

引き続き、受け入れ体制の整備に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号3	担当課：子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の充実 ①保育サービスの充実	
事業名	民間保育サービスの活用の推進	
事業概要・目的	保育サービス及び学童クラブの充実、地域子育て支援センターの設置等、仕事と子育ての両立を支援するための民間の力を活用した多様な保育サービスの実施・充実に努めます。	

H30年度の取り組み内容

- ・平成30年度から、アップル幼稚園が幼稚園型認定こども園となり、保育サービスの提供及び地域子育て支援センター事業の提供が可能となりました。
- ・高師保育園の幼保連携型認定こども園への移行を支援しました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	アップル幼稚園の認定こども園化により、新たな保育枠が確保され待機児童の減少が図られました。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

引き続き、認定こども園への移行を支援していきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号4	担当課：子育て支援課、生涯学習課、保健センター、社会福祉協議会
基本目標	地域における子育て支援の充実 ②子育て支援のネットワークづくり	
事業名	地域の力を生かした子育て支援	
事業概要・目的	地域の力を生かした子育て支援として、NPO、ボランティア、地域住民などを対象とした、相互援助活動の支援をします。また、相談事業等の中で、子育てサークルの紹介をします。	

H30年度の取り組み内容

- ・「もばらで子育てガイドブック」を2,500部作成し、図書館・児童センター・子育て支援課等で配布しました。
- ・公立保育所や児童センターにて、「しつけ」についての勉強会を実施しました。
- ・市の公式ウェブサイト等で保育サービス等の情報提供を行いました。
- ・出生時に母子事業の案内を配布し、周知に努めました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	ポピュレーションアプローチを実施していくことで、市民意識の醸成が図られ、ある程度の事業目的を達成したものと考えます。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続するとともに、様々な機会を通じて制度の周知に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号5	担当課：子育て支援課、保健センター
基本目標	地域における子育て支援の充実 ②子育て支援のネットワークづくり	
事業名	子育て支援サービスに関する情報提供	
事業概要・目的	子育て世帯が必要な情報を得られるように、また、市民が子育てへの関心・理解を高め、地域全体で子育て家庭を支えることができるよう、保育・母子保健事業の情報や子育てサークルの紹介等各種情報の提供と内容の充実に努めます。	

H30年度の取り組み内容

妊娠届出時や赤ちゃん訪問、転入時の案内等の機会を通じて、「もばらで子育てガイドブック」を用い、子育て支援に関する情報提供を行いました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	子育てに不安を感じる妊娠期や産後間もない時期に「もばらで子育てガイドブック」を配布し、効果的な情報提供ができたことから、不安解消にもつながりました。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号6	担当課：子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の充実 ②子育て支援のネットワークづくり	
事業名	家庭児童相談事業	
事業概要・目的	子どもの生活習慣、しつけの問題、家庭における人間関係、学校生活、引きこもり、不登校など児童の養育に関連する様々な問題について相談を受け付けます。その際、案件によっては、家庭訪問、児童相談所等関係機関へ連絡をとり対処します。	

H30年度の取り組み内容

相談担当を4名配置し、子どもの生活習慣、しつけ問題、家庭内の人間関係、学校生活、不登校など児童の養育に関連する様々な問題について相談を受け付けました。各関係機関と連携を密にし、ネットワークを活用しながら相談や訪問を行い困難なケースについては個別支援会議を随時開催しました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	様々な案件に対して関係機関と連携しながら適切に対応できたことから、事業目的はある程度達成したものと考えます。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続するとともに、充実した体制で事業が行えるよう、引き続き増加傾向にある要保護家庭への対応を図ります。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号7	担当課：子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の充実 ③経済的支援の充実	
事業名	保育所保育料の減免	
事業概要・目的	2人以上同時入所、ひとり親世帯、災害、疾病、第3子以降、その他の経済的な理由等により市長が保育料の納入が困難と認めた者を対象に保育料の減免を行い、経済的支援に努めます。	

H30年度の取り組み内容

ひとり親世帯、2人以上同時入所世帯や第3子以降等の保育料を減免しました。また、10月から婚姻歴のないひとり親家庭を対象に、寡婦（夫）控除のみなし適用を行い、減免対象者を拡充しました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	減免制度は確実に利用者の経済的負担を軽減するものであり、事業目的はある程度達成したものと考えます。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、事業の見直しを検討する必要があります。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号8	担当課：学校教育課
基本目標	地域における子育て支援の充実 ③経済的支援の充実	
事業名	私立幼稚園在園児の保護者に対する経済的支援	
事業概要・目的	<p>私立幼稚園に在園する園児の保護者に対し、一定の条件のもと、私立幼稚園就園奨励費補助や私立幼稚園園児補助金などの経済的支援に努めます。</p> <p>○就園奨励費補助金支給額（年額）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1子 62,200円～308,000円</li> <li>・第2子 154,000円～308,000円</li> <li>・第3子 308,000円</li> </ul> <p>※保護者の負担が上記の金額を下回る場合は、その額が限度          ※園児補助金は一律8,000円          ※所得（市民税額）により非該当となる場合あり          ○支給時期 2月</p>	

H30年度の取り組み内容

市内在住で市内外の私立幼稚園へ通う対象者を調査のうえ制度を周知し、申請を受け付け、認定となった場合に補助金を支給しました。

- 就園奨励費補助金
  - ・支給人数 380人
  - ・支給総額 53,483,200円
- 園児補助金
  - ・支給人数 326人
  - ・支給総額 2,567,278円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	認定審査において、同居家族の同一生計か否かの確認を行い、また、中途退園や転出の場合は速やかに個別支給を行うなど、保護者の実情に合わせた対応に努めたことから、事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い事務手続きの大幅な変更が見込まれるため、適正な事務に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号9	担当課：子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の充実 ③経済的支援の充実	
事業名	児童手当の支給	
事業概要・目的	<p>子育て世帯への経済的支給と、次代を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目的として、中学校修了までの児童を養育している方に児童手当の支給を行います。</p> <p>○支給額（月額）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児 15,000円</li> <li>・3歳以上小学校修了前 10,000円 （第3子以降は15,000円）</li> <li>・中学生 一律 10,000円</li> <li>・特例給付 一律 5,000円 （所得制限超過の場合）</li> </ul> <p>○支給時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4か月分ずつを年3回（6・10・2月）支給</li> </ul>	

H30年度の取り組み内容

子どもの出生や転入、生計主の異動に伴い認定請求や額改定等の各種申請を受理し年3回の支給を実施しました。また、保育料未納者に対しては児童手当の一部からこれを納付に充てるなど、適正かつ平等な支給となるよう努めました。

○支給総額 1,151,000,千円  
○支給延児童数 105,772人

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	生計主と児童が同世帯の場合に加え、生計主の単身赴任等の場合（別居監護）や何かしらの事情で父母が養育不可の場合（養育者等）も含め適正に支給を実施したことから、事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

現段階では特段、法改正・制度改正が予定されていないことから、引き続き適正な支給事務に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第1節	事業番号10	担当課：子育て支援課
基本目標	地域における子育て支援の充実 ③経済的支援の充実	
事業名	子ども医療費の助成	
事業概要・目的	中学校修了までの児童の入院医療費及び通院医療費の助成を行い、経済的な支援をします。	

H30年度の取り組み内容

新規申請者への受給券発行、転居・世帯構成変更等があった際の変更処理、県外受診者への償還払いによる給付等、各種事務を行いました。  
また、千葉県市町村振興協会の宝くじ交付金を活用することで、市の一般財源負担の軽減を図りました。

○執行額

- ・扶助費 274,741,099円
- ・手数料 9,411,409円
- ・助成件数 入院：584件 通院：85,532件 調剤：52,915件

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	助成内容について類似市とほぼ同等になり、経済的支援が図られているものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

現段階では特段、法改正・制度改正が予定されていないことから、引き続き適正な助成事務に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号11	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	母子健康手帳等の交付	
事業概要・目的	<p>妊娠、出産、子どもの成長記録としてすべての親子が活用できるように、母子健康手帳を保健センターで随時窓口交付します。交付に際しては、母子健康手帳の使い方の説明、市町村母子保健事業の紹介、妊娠中の生活についての指導、妊婦・乳児健康診査受診票の使い方の説明、子どもの医療対策の周知に努めます。</p> <p>転入妊婦については連絡票を作成・活用しています。</p> <p>また、ハイリスク妊婦等を支援するため、相談体制の充実と産婦人科医との連携を図ります。</p>	

H30年度の取り組み内容

住民登録のある妊婦に対し妊娠届を提出してもらい、母子健康手帳本体及び別冊・副読本を交付し、制度や活用方法について説明しています。転入妊婦には連絡票を活用しています。保健師が全数面接を実施しており、アンケートを用いて、妊婦・家族の相談内容の確認、その後ケアプランを作成し、ハイリスク妊婦・特定妊婦には、今後の関わりが持ちやすいようにしました。

平成30年度より20歳まで記入できる母子健康手帳へ変更しており、家族が長く愛用できるものにしました。

○母子健康手帳発行数：500件（双胎2含）

○事業費：347千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	保健師が全数面接を行うことで、妊婦・家族の相談に随時対応することができています。また、特定妊婦、ハイリスク妊婦に関しては細やかな支援の実施や、産科医療機関と連携することで虐待予防や安心で安全な出産ができるように支援できています。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

引き続き、母子健康手帳交付時は保健師等が全数面接し、妊婦・家族の相談へ適宜対応します。

また、母子健康手帳を20歳まで記録できるものへ変更したことによる児童虐待予防への効果を今後検証していきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号12	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	ママ・パパ教室の開催	
事業概要・目的	<p>充実した妊娠期を過ごすことが母体、胎児ともに必要であり、子育て期の初めての事業として、ママ・パパ教室を開催しています。夫や仕事を持つ妊婦がより参加しやすいよう、土曜日も設定しています。近年は育児面（児童虐待予防含む）の指導を充実させています。</p>	

H30年度の取り組み内容

妊婦とその配偶者などを対象として、各回年4回の教室を実施するとともに、産後の育児や栄養・歯科保健の内容および助産師の講義を充実させました。教室終了後にアンケートを実施し、参加動機や、妊娠・子育てに関する不安軽減の有無、おむつ交換体験と沐浴体験等の感想を集計しました。また、妊婦とその家族が他の参加者と交流できるよう工夫しました。

○参加人数

- ・1回目「出産準備編」 妊婦77名、夫45名、他6名
- ・2回目「産後育児編」 妊婦83名、夫54名、他3名
- ・3回目「沐浴・妊婦体験編」 妊婦75名、夫62名

○事業費：209千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	参加者の89%が「不安が軽減された」との回答があったことから、事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

好評をいただいている1～3回目の内容は令和1年度以降も引き続き実施します。さらにママ・パパが主体的に育児に参加できるよう、先輩ママ・パパとの交流やパパにもできる調乳指導など、参加者のニーズに合わせた4回目の教室を展開します。また、防災や受動喫煙、夫婦間トラブルの予防に関する内容についても盛り込み、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号13	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	妊産婦訪問事業	
事業概要・目的	<p>ハイリスク妊婦や特定妊婦を中心に、安心して出産・子育てができるように助産師や保健師が家庭訪問を行います。</p> <p>産婦については、乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問事業）にて、産後うつが心配される等の継続支援が必要な産婦に対し、安心して子育てができるように助産師や保健師が訪問を行います。</p>	

H30年度の取り組み内容

妊娠届出時に若年・高齢・精神疾患の既往、生活困窮などの課題を抱えた特定妊婦に対し、助産師や保健師が安心して子育てできるように妊娠中から産後にかけて継続して訪問しました。また、ママ・パパ教室に参加できない妊婦に対しても個別に訪問し、沐浴指導なども行いました。

産婦については、赤ちゃん訪問事業にて育児不安が強いなどの継続支援が必要な産婦に対して助産師や保健師が訪問しました。

○訪問状況

- ・妊婦訪問：実43件（延べ80件）
- ・産婦訪問：実93件（延べ212件）

○事業費：63千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	妊娠期より、安心して出産が迎えられるように助産師や保健師が訪問し、マイナートラブルや悩みなどに対応することができました。また、産後の支援体制を整え、虐待予防としても効果がありました。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号14	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	乳幼児訪問指導の実施	
事業概要・目的	育児不安がある親や各種健診、相談後に継続個別指導が必要な乳幼児健康診査に対し、定期的に訪問や電話をかけ、保健指導を行います。また、乳幼児健診の未受診者に対し、保護者等へ健診の必要性について理解を促し、受診勧奨に努めます。	

H30年度の取り組み内容

妊娠届出や乳児相談・幼児健康診査にて継続支援が必要と判断した家庭には、電話・面接・訪問による継続支援を実施するとともに、必要に応じて子育て支援課や関係機関のサービスに繋げました。

また、乳児相談・幼児健康診査未受診者に対し、保健師による電話・訪問を実施し、受診勧奨と状況把握に努めました。

○訪問：延1,172件

○電話：延1,387件

○面接：延1,363件

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	継続支援の実施により育児不安の軽減に努めることができました。また、未受診者には保健師の受診勧奨により、受診率は98%以上の高い水準を維持することができました。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

育児不安が強い親や虐待の恐れがあるケース、発達が遅く経過をみる必要のあるケース等が年々増加傾向にあり、引き続き、乳児相談・幼児健康診査の受診勧奨、窓口・電話相談の利用、育児支援の充実に努めるとともに他課や他機関との連携に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号15	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	乳幼児健康診査の実施	
事業概要・目的	乳児健診（3～6か月児、9～11か月児：医療機関に委託）、1歳6か月児・3歳児健診を実施するとともに、支援の必要な母子に対しては、家庭訪問、電話相談を実施し、継続的に支援しています。また関係機関と連携し、療育事業の紹介をしています。未受診者の中により支援が必要な家庭が存在することから、訪問や関係機関との連携により、情報収集に努め、適切な支援を実施します。	

H30年度の取り組み内容

法定健診として1歳6か月児・3歳児健診を年12回実施。市任意事業として2歳児歯科健診を年6回実施しました。健診の結果、経過観察や要精密検査となった児童に対しては、保健師が電話や訪問等により適切な支援を実施しています。発達に心配のある児童については、子育て支援課の子育て相談やことばの相談のほか、関係機関の療育事業につなげました。また、未受診者については訪問等で受診勧奨を実施するとともに状況把握に努めました。

○1歳6か月児健診受診率：100.2%

○3歳児健診受診率：98.4%

○事業費：11,336千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	受診率は前年度同様高い水準で維持でき、健診後に支援が必要な児童については、保健師が電話や訪問で支援をすることができ、事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	未受診者については保健師が繰り返し電話や訪問を実施し、受診率の向上と状況把握に努めました。

R1年度以降の取り組みについて

健診受診率を高め、健やかな成長発達を支援するのはもちろんのこと、未受診者へ受診勧奨しながら状況を把握し、居所不明児童とならぬように関係機関と連携し、必要な支援に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号16	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	乳幼児健康相談の実施	
事業概要・目的	乳児がいる家庭を対象に、育児不安等への早期援助と、育児情報の交換による仲間づくりの支援を図るため、6か月乳児相談を実施します。親子遊びを通し、親子の愛着形成の促進を図り、母親同士の交流がもてるように促すとともに異常の早期発見、疾病改善への援助をします。6か月乳児相談の場において、図書館・子育て支援課・健康管理課の3課合同のブックスタート事業を実施しており、保護者が本の読み聞かせを通して子どもとのかかわりを学ぶ機会の提供に努めます。また、随時、乳幼児がいる家庭を対象に個別相談に応じます。	

H30年度の取り組み内容

集団指導にて生後6か月時期に必要な、親子と子のふれあい遊び・情緒発達の話（保育士）、離乳食の進め方（栄養士）、歯の手入れ方法（歯科衛生士）の指導を実施しました。  
また、地区ごとに対象者を選出しており、離乳食を食べるスペースでは自由に参加者同士が交流できるようにしました。

- 実施回数：12回（月1回の実施）
- 対象者数：501名、受診者数：484名、受診率：96.6%
- 事業費：632千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	生後6か月時期に必要な知識の普及ができ、保護者の育児不安の軽減につながったものと考えます。
A：十分な成果を上げた	また、離乳食を食べながら専門家に相談するほか、リラックスした雰囲気での他の家庭と交流できるような場の提供ができました。

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号17	担当課：子育て支援課
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	乳幼児発達支援の充実	
事業概要・目的	遊びを中心に親子のふれあいを通して、幼児の発達を支援する「ひまわりっこ教室」を実施し、乳幼児の育成指導事業の充実に努めます。また、子育て・ことばの相談を行い個別支援を行います。	

H30年度の取り組み内容

ひまわりっこ教室は年24回、子どもの年齢や発達度合等に合わせて、りす組・きりん組と分けて実施しました。また、子育て・ことばの相談を行い、個別支援の場を設けました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	子どもの発達に合わせた発達支援を行い、個別対応が必要な母児には案内するように努めたことから、事業目的は達成したものと考えます。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続し、増加傾向にある発達支援の必要な乳幼児の育成指導事業の更なる充実に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号18	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	歯科健康診査等の実施	
事業概要・目的	<p>歯科医師による歯科健康診査、及び歯科衛生士による個別指導を実施しています。1歳6か月、3歳児健診及び2歳児歯科健診においては、希望者にフッ化物歯面塗布を実施するとともに個別指導に重点を置き、むし歯予防の啓発に努めます。</p> <p>また、幼稚園・保育所巡回歯科指導をはじめ、小学1・3・5年生と中学1年生まで継続した歯科指導を行うことにより将来にわたり健康な生活が送れるよう「8020運動」を推進しています。</p>	

H30年度の取り組み内容

各幼児健診において歯科衛生士による個別歯科指導およびフッ化物歯面塗布を実施しました。また、加えて2歳児、3歳児を対象にフッ化物塗布事業を行いました。  
幼稚園・保育所・小学校・中学校の歯科指導を実施するとともに歯質強化を目的としたフッ化物洗口を保育所（園）11園、公立幼稚園4園、私立幼稚園1園、小学校14校を対象に実施しました。

○幼児健康診査

- ・1歳6か月児健診 521人（対象532人）
- ・2歳児歯科健診 510人（対象545人）
- ・3歳児健診 563人（対象587人）

○フッ化物歯面塗布事業

- ・2歳児 381人（対象554人）
- ・3歳児 404人（対象603人）

○歯科指導

- ・幼稚園、保育所（19施設） 年長551人、年中513人、年少394人
- ・小学校（14校） 1年生633人、3年生628人、5年生670人
- ・中学校（7校） 1年生652人

○フッ化物洗口

- ・保育所、幼稚園（16施設） 478人（対象485人）
- ・小学校（14校） 3,772人（対象3,927人）

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	<p>歯みがきの方法をはじめ間食指導、習癖等の保護者の心配事に対し、個別で対応することができました。また各年齢に応じてフッ化物を使用することにより健康格差が生じないよう努めることができました。</p>
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

引き続き各年齢においてフッ化物を使用するとともに、歯科保健に関わる心配事を解決できるよう個別に指導、相談ができるよう努めます。巡回歯科指導においても集団指導に加え、可能な限り個別で対応できるよう努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号19	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①子どもや母親の健康の確保	
事業名	離乳食指導	
事業概要・目的	6か月乳児相談において母親等を対象に、離乳食の進め方や与え方を理解し、離乳食の大切さについて認識を深めてもらうための講話、離乳食の試食を行い、離乳食指導に努めます。また、乳児相談、幼児健診、電話相談等で個別にも離乳食・幼児食に対しての不安が解消できるように努めます。	

H30年度の取り組み内容

6か月乳児相談において栄養士による離乳食の進め方の講話、離乳食の試食、個別相談を実施しました。また、電話や来所にて個別相談を実施し、個々に応じたきめ細やかな食事指導を実施し、保護者の不安軽減に努めました。

○事業費：24千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	離乳食の進め方をはじめ補食指導、幼児食への移行等の保護者の心配事に対し、個別で対応し、不安を軽減することができました。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

引き続き離乳食・幼児食の指導を行うとともに、食生活に関わる心配事を解決できるよう個別に指導、相談ができるよう努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号20	担当課：子育て支援課
基本目標		母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ①食育の推進
事業名		保育所給食の推進
事業概要・目的		<p>下記の役割をもつ保育所給食の推進・充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所児童の健全な発育及び健康の維持・増進の基盤</li> <li>・おいしい、楽しいという情緒的機能</li> <li>・食事を大切にする考え方を教える教育的機能</li> </ul> <p>また、自校給食方式により、3歳未満児の完全給食と3歳以上児の副食給食、離乳食、アレルギー食の実施に努めています。給食献立及び給食時を楽しくすること等、保育所給食の充実に努めます。</p>

H30年度の取り組み内容

- ・荷重平均栄養価を算出し、毎月栄養出納表を作成して栄養評価を行い、過不足の無い質の高い給食の提供を行いました。また、例月の身長・体重の測定より発育状態の確認を行い、個別の栄養評価及び肥満度指導を行いました。
- ・保育所での野菜栽培の種類を増やし、自然と触れ合う機会を多くしました。また、子どもと一緒にクッキングの回数を増やし、楽しい食事作りから食への興味を持たせました。
- ・3～5歳児の保護者に食育アンケートを実施し、保育所の給食及び食習慣について統計をとり、献立作成に活かしました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等 ※子育て支援の観点での評価をお願いします。

総合評価	平均栄養所要量の基準を満たした質の高い給食の提供と、各保育所において食育計画を作成しその内容について概ね達成出来たことから、十分な成果が上げられたものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

前年度同様、栄養評価を行い、より良い献立の作成をします。  
 今年度は卵のアレルゲンを完全除去した献立を作成し、安全性の向上を目指します。  
 各保育所との連携を図りながら、食育指導の取り組みを継続し、保育所給食の充実に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号21	担当課：学校教育課
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ②食育の推進	
事業名	学校給食の推進	
事業概要・目的	<p>児童生徒の発育や健康をつかさどる学校給食については、自校給食方式及び給食センター方式で実施しており、望ましい食習慣の形式や食事マナーの指導等を推進します。また、バランスのよい食事の提供や郷土食を取り入れた地元産の食材の使用等、学校給食の充実に努めます。さらに、児童生徒の家庭に対しては、献立表や給食だよりを配布するなど情報の提供に努めます。</p>	

H30年度の取り組み内容

児童生徒の心身の健康を増進するために必要な栄養素をバランスよく提供することに努めました。また、旬の食材や地元産の食材を活かした季節感のある献立とすることで、食育の推進や学校給食の充実に努めました。給食に関する関心を高めるため、保護者に対して献立表や給食だよりを配付し、情報を提供しました。

○事業費 605,160,290円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	バランスの良い学校給食の提供、また、学校給食を通じて食に関する指導を推進したことから、事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

給食センターや学校等と連携を図りながら、上記の取り組みを継続し、学校給食の充実に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号22	担当課：保健センター
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ②食育の推進	
事業名	健康生活推進員の活動	
事業概要・目的	生涯を通じた健康づくりの一貫として、正しい食生活習慣の普及活動を展開します。また、地産地消の推進など食育活動に努めます。	

H30年度の取り組み内容

萩原学童クラブや東郷福祉センター等他機関と連携し、正しい食習慣の普及および地産地消を推進しました。  
 ※事業費については地域組織活動補助金（630千円）に含まれます。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	食習慣の完成期である学童期の子どもに対し、他機関と連携しながら正しい食習慣の普及を行うことができました。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

引き続き正しい食習慣の普及ができるよう努めます。また、他機関からの依頼があった場合可能な限り対応できるよう努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号23	担当課：健康管理課
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ③小児医療体制の確保	
事業名	地域医療体制の整備	
事業概要・目的	多様化する医療ニーズに対応するため、医師会及び歯科医師会等の協力を得ながら医療機関との連携を図り、地域医療体制の整備に努めます。	

H30年度の取り組み内容

小児専門医療機関と小児科を標榜する一般病院が、それぞれの機能に応じた役割分担に基づき、連携強化して効率的な医療体制の整備に努めました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	限りある医療資源の中で、それぞれの機能に応じた役割を担っていくことにより、効率的な医療体制を構築していけるよう、関係機関との連携を図っていくことができました。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続するとともに、基幹病院である長生病院の医師確保に努め、小児の救急医療体制の整備について関係機関に働きかけていきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号24	担当課：健康管理課
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ③小児医療体制の確保	
事業名	休日・夜間医療体制の整備	
事業概要・目的	休日・夜間当番医療体制、子どものかかりやすい病気やけが、事故の予防と対処方法の情報提供及び周知に努めます。	

H30年度の取り組み内容

広報、市ウェブサイト及び乳児相談等において、子ども急病電話相談（#8000番）の周知、啓発を図りました。また、医師会の協力のもと、小児救急講習を開催し、適切な医療受診ができるように知識の普及に努めました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	広報等での周知により、医療機関への適正な利用を促す等、一定の成果を得ました。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続するとともに、空白時間（急病者の受入れが困難な時間）の解消に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第2節	事業番号25	担当課：健康管理課
基本目標	母性と乳幼児等の健康の確保及び増進 ③小児医療体制の確保	
事業名	二次救急医療体制の整備	
事業概要・目的	妊娠中毒症や超未熟児等の周産期医療のため、NICU病床の整備や搬送体制の充実を図るよう関係機関との連携に努めます。また、二次救急医療体制の充実のため、特に小児救急の整備に努めます。	

H30年度の取り組み内容

小児医療におけるそれぞれの役割分担を明確化するとともに、初期、二次、及び三次の小児救急医療体制における円滑な受け入れ体制の整備に努めました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	役割分担の明確化という点ではできているが、小児科医が少ない地域であることにより、小児救急の円滑な受け入れができていない現状があります。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

## 茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第3節	事業番号26	担当課：企画政策課、商工観光課
基本目標		子育てを支援する環境の整備 ①職業生活と家庭生活との両立の支援
事業名		男女の働き方の意識の是正
事業概要・目的		固定的な性別役割分担意識、職場における慣行等を解消するため、研修会・講演会への参加促進やパンフレットの配布に努めます。関係機関との連携により今後も意識の是正に努めます。

### H30年度の取り組み内容

- ・研修会・講演会への参加促進及びパンフレットの配布については、国・県・関係団体から提供されるチラシやパンフレット等を、1階情報公開コーナー及び4階企画政策課窓口に設置、茂原商工会議所に設置依頼、また、男女共同参画に係る会議・行事等で配布しました。
- ・関係機関との連携については、上述の茂原商工会議所へのパンフレット等の設置依頼の他、職場におけるハラスメント防止のための啓発セミナーについて開催を依頼しました。（H31年度開催予定）
- ・市ホームページに「事業者の方へ」の中で「雇用均等について」と題し、「男女雇用機会均等法について」、「ポジティブアクションについて」、「次世代育成支援対策推進法について」、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律について」の項目を設け情報を提供しました。

### H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会・講演会への参加促進及びパンフレットの配布、関係機関との連携について尽力しました。</li> <li>・職場環境の整備に向け、事業者向けに関連施策の情報を体系的に整理し提供しました。</li> </ul>
B:ある程度の成果を上げた	

### R1年度以降の取り組みについて

茂原市ハートフルフェスタ実行委員会（ボランティアの組織）や茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（庁内組織）、茂原商工会議所と協働し、固定的な性別役割分担意識の解消やハラスメント防止等をテーマとした研修会・講演会の開催及びパンフレットの作成・配布を行い、性別に関わりなく働きやすい職場環境づくり実現のための意識醸成を図ります。

また、国、県をはじめとする関連機関の取組を有効活用するとともに、法令・施策等の情報提供を強化することで、男女の働き方の意識の是正に努めていきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第3節	事業番号27	担当課：企画政策課、商工観光課
基本目標		子育てを支援する環境の整備 ①職業生活と家庭生活との両立の支援
事業名		仕事と子育ての両立のための啓発・広報の推進
事業概要・目的		男女雇用機会均等法、労働基準法、育児・介護休業法等について企業・事業主等への啓発に努めるとともに、住民に対する広報に努めます。今後も講演会や講座への参加、パンフレットの配布、男女雇用機会均等法などの法制度の周知・啓発に努めます。

H30年度の取り組み内容

- ・法制度やワークライフバランスの実現、女性の社会進出及び男性の家事・育児参加等に関する研修会・講演会について、国・県・関係団体から提供されるチラシやパンフレット等を、1階情報公開コーナー及び4階企画政策課窓口に設置、茂原商工会議所に設置依頼、また、男女共同参画に係る会議、行事等で配布しました。
- ・保健センター主催の「育児パパ男塾」の「第3回 地域で子育て孫育て」に、ハートフルフェスタ実行委員会として企画立案の協力及び講師派遣をしました。
- ・市ホームページに「事業者の方へ」の中で「働き方について」と題し、「ワークライフバランスについて」、「育児・介護休業法制度について」の項目を設け情報を提供しました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会や講演会への参加促進及びパンフレットの配布について尽力しましたが、参加者数増加や意識の是正につながったかどうか、効果を測定することが難しいと考えます。</li> <li>・保健センター主催の子育て孫育てをテーマとした講座に、男女共同参画の視点を持った有識者としてハートフルフェスタ実行委員会の会長を講師派遣したことにより、父親や祖父母、地域の人々で母親を支援し、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりのための意識醸成を図りました。</li> <li>・職場環境の整備に向け、事業者向けに関連施策の情報を体系的に整理し提供しました。</li> </ul>
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

ハートフルフェスタ実行委員会や保健センターと協働し、法制度やライフワークバランスの実現等をテーマとした研修会や講演会の開催及びパンフレットの作成や配布を行い、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりのための意識醸成を図ります。  
また、国、県をはじめとする関連機関の取組を有効活用するとともに、法令・施策等の情報提供を強化することで、仕事と子育ての両立に向けた啓発・広報の推進していきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第3節	事業番号28	担当課：管財課
基本目標	子育てを支援する環境の整備 ②子育て世帯にやさしい生活環境の整備	
事業名	子育て世帯にやさしい公共施設等の整備	
事業概要・目的	公共施設等において、子どもサイズの便器・手洗い器、ベビーベッド、ベビーチェア、ゆったりした化粧室、授乳室の設置などの子育て世代が安心して利用できるトイレ等の整備に努めます。	

H30年度の取り組み内容

- ・市民室の女子トイレにベビーベッドを1台設置しました。
- ・市庁舎において、1階授乳室の場所を示した案内表示を、2階窓口担当課のカウンター等に掲示し、授乳室の利用促進に努めました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	ベビーベッドの増設、授乳室の利用促進を図りました。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

子育て世代が利用しやすい施設環境に留意し、適正な施設運営、維持管理に努めます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第3節	事業番号29	担当課：学校教育課、子育て支援課
基本目標	子育てを支援する環境の整備 ③子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	
事業名	防犯講習の実施	
事業概要・目的	子どもが犯罪等に遭わないようにするために、校内における危機管理マニュアルによる実践的な講習訓練、保育所園児を対象に不審者対応訓練を実施します。	

H30年度の取り組み内容

各学校で危機管理マニュアルに基づいた訓練等を実施する際、警察等に依頼し、防犯講習等も併せて実施しました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	児童生徒が防犯講習や防犯教室での実践（寸劇）を通して複雑多様化する犯罪等を体験するとともに不審者訓練を実施したため、事業目的をある程度達成したものと考えます。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記の取り組みについて内容等を精査しながら継続します。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号30	担当課：子育て支援課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ①児童虐待防止対策の充実	
事業名	要保護児童対策地域協議会の運営	
事業概要・目的	児童虐待を防止するとともに、虐待に対応するための環境整備を目的として、「要保護児童対策地域協議会」を設置します。教育、学校、警察、法務局の代表が集まり、情報交換や、課題や対応策等を協議する場を設けます。	

H30年度の取り組み内容

「茂原市要保護児童対策地域協議会」を設置し、代表者会議、6回の実務者会議、53回の個別ケース検討会議を開催しました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	児童虐待の発生を予防するため、関係機関と情報交換を実施し、子どもの安全の確保が図られたことから事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号31	担当課：保健センター、子育て支援課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ①児童虐待防止対策の充実	
事業名	虐待の発生予防	
事業概要・目的	児童虐待の発生を予防するため、日常的な育児相談機能の強化や、養育者が精神的にも肉体的にも最も支援を必要とする出産後間もない時期を中心とした、母子保健事業の強化に努めます。新生児訪問、赤ちゃん訪問事業、乳児相談、幼児健康診査等において育児負担の状況把握をし、虐待の発生予防に努めます。	

H30年度の取り組み内容

- ・赤ちゃん訪問事業、乳児相談、幼児健康診査等において育児負担の状況把握を行いました。
- ・養育環境の確認や必要に応じて子育て支援サービスの紹介を行いました。
- ・母子保健事業を通じて、母子のかかわりの様子や育てづらさ、妊娠届出時アンケート、幼児健康診査時のすこやか親子21関連のアンケート等も参考にしながら、不適切な養育にならぬように保健指導を行いました。
- ・虐待のリスクが高い児童については要保護児童として取り扱い、関係機関と情報共有しながら、必要に応じて個別ケース検討会議を開催し、役割分担しながら支援を行いました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業を通じて、子育てに関する不安や悩みを聞き取りし、必要な支援に繋げることができました。また必要に応じ、要保護児童として取り扱い、関係機関と連携することで重篤な虐待事例の発生を防ぐことができました。</li> <li>・虐待発生の予防のために訪問を実施し、家庭の困り感に合わせた子育て支援サービス紹介を実施できたので、事業目的は達成できたと考えます。</li> </ul>
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続するとともに、充実した体制で事業が行えるよう、引き続き増加傾向にある育児不安を抱える家庭への対応の充実を図ります。

## 茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号32	担当課：子育て支援課
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ②ひとり親家庭の自立支援の推進
事業名		ひとり親家庭等の自立、就業支援
事業概要・目的		現行制度として、児童扶養手当・ひとり親家庭等医療費等助成制度などがあり、自立・就学・相談支援の推進をします。また、母子家庭の母又は父子家庭の父の就労を支援するため、各種制度・支援をパンフレット、リーフレットを配布して周知に努めます。母子家庭の母または父子家庭の父を対象に自立につながる対象教育訓練を受講した場合には、支払った経費の一部を支給します。

### H30年度の取り組み内容

- ・ひとり親家庭等医療費等助成については、入院：485日、通院：3,043件、調剤：1,230件で総額13,122,549円の助成を実施しました。
- ・高等職業訓練促進給付金については延べ10人に対し、6,397,000円給付、自立支援教育訓練給付金については、延べ2人に対し、229,400円給付しました。

### H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	国及び市の規則・要綱に従い、適正な給付が実施できました。
A：十分な成果を上げた	

### R1年度以降の取り組みについて

母子家庭等対策事業（自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金）については給付年限の延長や支給月額引き上げが予定されているため、予算確保と合わせ遺漏なく各種事務（要綱改正、必要に応じて周知）を実施していきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号33	担当課：子育て支援課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ②ひとり親家庭の自立支援の推進	
事業名	児童扶養手当の支給	
事業概要・目的	ひとり親家庭福祉の充実を図るため、児童扶養手当の支給により、安心して家庭生活を送ることができるよう寄与していきます。	

H30年度の取り組み内容

離婚に伴う認定申請等の各種申請を受理し年3回の支給を実施しました。また、生活困窮者に対する社会福祉協議会の貸付金について、児童扶養手当の一部からこれを返済に充てるなど、適正かつ平等な支給となうよう努めました。

○支給総額：325,736,860円

○支給延人数：8,437人

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	認定請求の受理、認定処理、給付について適正に処理しました。また、支給資格について疑わしい案件については聴き取りや現地調査を行うなど、公平・公正な事務執行に努めました。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

令和2年度からの支払い回数平準化に向け、令和1年度は変則的な支給スケジュール（年5回）になることから、現況届受付時に受給者への周知・広報に努め、遺漏なく事務を行います。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号34	担当課：建築課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ②ひとり親家庭の自立支援の推進	
事業名	優先入居制度の活用	
事業概要・目的	公営住宅の空家募集において、公募型公開抽選により入居者を選考しています。ひとり親世帯等の条件により当選確立を優遇します。	

H30年度の取り組み内容

平成30年度は抽選を3回実施しており、ひとり親世帯であった4名に対し、抽選の優遇措置を行いました。その結果、1名の入居を決定しました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	この優遇措置は、ひとり親世帯だけではなく、老人世帯や障害者世帯等も対象となるため、平成30年度に行った3回の抽選に参加した7名全員が優遇措置の対象となりました。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

## 茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号35	担当課：保健センター、障害福祉課、学校教育課、子育て支援課
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ③障害児施策の充実
事業名		自閉症及び乳幼児の発達障害への対応
事業概要・目的		発達障害が疑われる児童に対し、家族支援や相談を実施しています。また、該当する児童生徒に対し、療育支援コーディネーターの派遣や心の教室相談事業など教育的支援を進めるとともに、発達障害の疑いのある乳幼児の子育て相談・ことばの相談・遊びの教室を実施します。

### H30年度の取り組み内容

- ・保健センターでは幼児健診等で発達に心配のある子どもについて、健診当日に臨床心理士等の相談が受けられるようにしています。その後も電話や訪問、次回の健診等により発達状況を把握し、必要に応じて子育て支援課で実施している子育て相談等や児童発達支援事業所、医療機関等の専門機関を紹介しました。
- ・幼稚園や保育所に療育支援コーディネーターとともに出向き、集団生活に適應できるように子どもの関係者に対し助言を行いました。
- ・子どもの状況に応じ、より成長できる環境、最もふさわしい教育が受けられる場を考えていくため、就学相談を随時行いました。同時に就学のしおりを作成し、配布しました。

### H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の困り感などに寄り添いながら、必要な支援につなげることができました。</li> <li>・発達障害が疑われる子どもに対して家族支援を実施しながら幼稚園や保育所へ助言を行い不安解消に努めました。</li> <li>・就学相談を随時行い、適切な就学支援に努めました。</li> </ul>
B:ある程度の成果を上げた	

### H31年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続するとともに、充実した体制で事業が行えるよう、引き続き増加傾向にある発達障害児をもつ家庭への対応の充実を図ります。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号36	担当課：障害福祉課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ③障害児施設の充実	
事業名	特別児童扶養手当の支給（県事業）	
事業概要・目的	心身に障害のある児童の監護又は養育している方を対象にした特別児童扶養手当の支給について、国・千葉県の指針に基づき、特別児童扶養手当の適正な事務に努めます。	

H30年度の取り組み内容

心身に障害のある児童の監護又は養育している方を対象に特別児童扶養手当を県より支給しました。

- 支給件数：283件
- 支給額：49,322千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	家庭で介護されている心身障害児の福祉の増進が図られたことから、事業目的を達成したものと考えられます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

今後も制度の周知を図るとともに、国・県の指針に基づき、適正な事務に努めていきます。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号37	担当課：障害福祉課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ③障害児施設の充実	
事業名	身体障害児補装具支給事業の実施	
事業概要・目的	身体に障害のある児童の日常生活を支援するため、補装具の支給と修理を行い、健康の保持、生活の安定を確保します。本事業の周知に努めており、国・千葉県の指針に基づくとともに、身体障害児の状況を踏まえながら、必要な補装具の給付に努めます。	

H30年度の取り組み内容

身体に障害のある児童の失われた部位、欠陥のある部分を補うための用具の交付、修理を行いました。（車椅子、補聴器、座位保持装置等）

- 支給決定件数：33件
- 支給決定額：5,843千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	身体障害児の健康の保持、生活の安定及び福祉の増進が図られたことから、事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

今後も身体障害児の状況を踏まえながら必要な援助を行います。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号38	担当課：障害福祉課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ③障害児施設の充実	
事業名	重度障害児日常生活用具給付事業の実施	
事業概要・目的	在宅の重度障害児の日常生活において、便宜と能率の向上を図るため、ネブライザー（吸入器）、たん吸引器、入浴補助用具や特殊便器等の日常生活用具の給付に努めます。本事業の周知に努めており、国・千葉県の指針に基づくとともに、重度障害児の状況を踏まえながら、必要な日常生活用具の給付に努めます。	

H30年度の取り組み内容

在宅の重度障害児の日常生活がより円滑に行われるための用具の給付を行いました。（紙おむつ等）

- 給付決定件数：203件
- 給付決定額：2,332千円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	重度障害児の日常生活の安定と在宅サービスの充実が図られたことから、事業目的を達成したものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

今後も重度障害児の状況を踏まえながら必要な援助を行います。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号39	担当課：障害福祉課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ③障害児施設の充実	
事業名	障害児介護給付費及び障害児通所支援事業費等の支給	
事業概要・目的	在宅の障害児が指定事業者等において、居宅介護、短期入所、児童発達支援、放課後等デイサービス等のサービスを受けたときに、その費用の一部を負担します。各種支援において日常生活及び社会生活に必要な援助、指導を実施します。	

H30年度の取り組み内容

児童が在宅で生活するうえで必要な援助を行う居宅介護、保護者の緊急時(疾病等)やレスパイトのために利用する短期入所、未就学児が施設へ通所し、日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練等を行う児童発達支援、放課後や学校休業日に施設へ通所し、生活能力の向上等のために必要なさまざまな訓練を行う放課後等デイサービスを児童や保護者の意向により、相談支援事業所が作成したサービス利用計画書を基に適正な支給に努めました。

○支給決定者数（H31.3末）

- ・居宅介護：7人
- ・短期入所：38人
- ・児童発達支援：56人
- ・放課後等デイサービス：129人

○事業費

- ・居宅介護：3,552,729円
- ・短期入所：4,709,841円
- ・児童発達支援：74,279,588円
- ・放課後等デイサービス：156,798,674円

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	障害者手帳を取得していない疑いのある児童に対しても、援助や支援の必要性を考慮し、相談支援事業所が作成したサービス利用計画書を基に支給決定をしていることから事業目的は達成しているものと考えます。
A：十分な成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記取り組みを継続します。

茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号40	担当課：学校教育課
基本目標	要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ③障害児施設の充実	
事業名	特別支援教育の推進	
事業概要・目的	<p>「特別支援教育ガイドライン」に基づき、特別支援教育に対する正しい理解と認識を深めるとともに、「特別支援教育支援員」の計画的な配置、「特別支援教育研修会」の開催による教職員の専門性の向上、情報の共有化、関係機関との連携による特別支援連携協議会の開催、巡回相談の実施、専門家チームの設置、教育支援委員会の開催等、特別支援教育の一層の充実に努めます。</p>	

H30年度の取り組み内容

特別支援学級の適切な教育課程の編成と教育実践を図るとともに、特別支援教育に対する正しい理解と認識を深めることにより特別支援教育の推進に努めました。

H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	障害のある児童生徒が、その障害の種類や程度に応じた適切な教育を受けられるよう特別支援教育の充実に努めたことから、事業目的をある程度達成したものと考えます。
B:ある程度の成果を上げた	

R1年度以降の取り組みについて

上記の取り組みを継続し、特別支援教育の推進を図ります。

## 茂原市子ども・子育て支援事業計画分野別施策シート（H30年度）

第4節	事業番号41	担当課：保健センター、子育て支援課、障害福祉課、学校教育課
基本目標		要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ③障害児施設の充実
事業名		障害児の生活支援ネットワーク化の推進
事業概要・目的		母子保健・児童福祉・社会福祉関係、身体障害者と家族の会、障害者地域作業所等の協力を得て、障害児の在宅生活を支援する一環として、関係機関・団体との情報の共有化と連携強化を図り、サービスの効果的な運用とネットワーク化に努めます。

### H30年度の取り組み内容

- ・子育て支援課、社会福祉課、心身障害児親の会、保健センター等との間で連携を密にし、情報の共有化、サービスの効果的な運用を図りました。療育作業部会にて関係機関との情報交換・ネットワーク化の推進を図りました。
- ・長生郡市総合支援協議会療育作業部会にて、母子保健、児童福祉、学校教育の現状を共有することができました。また、平成30年度より療育支援コーディネーター事業が開始となり、それぞれの分野をつなぎ連携が取れるようになりました。

### H30年度の事業実施総合評価及び評価理由等

総合評価	関係機関・団体との情報の共有化と連携強化が図れました。また、療育支援コーディネーター事業が開始となり、母子保健、児童福祉、学校教育をつなぎ、連携が取れるようになったことから、事業目的をある程度達成したものと考えます。
B:ある程度の成果を上げた	

### R1年度以降の取り組みについて

上記の取り組みを継続し、ネットワーク化の推進を図ります。